

総合的な学習の時間

第3学年

竹原市立吉名学園

指導者 折重歩美・有松浩司

吉名ミュージアム創立プロジェクト

1 単元及び児童生徒の実態について

目標

- ◎「吉名ミュージアム」を創立する活動を通して、吉名の町のよさを見つけてそれを伝える方法を考え、よりよいミュージアムにしようと改善を図り、最後までやり切ることができる。(エ 活動を計画・推進する力、コ 挑戦する力・やり遂げる力)
- 吉名町について調べたことを、プレゼンテーション資料を作って発表することができる。(イ 技能、キ 表現する力)

第1 目標

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

単元について

本単元は、本校の総合的な学習の時間（YOSHINA 未来学）の目標「郷土に学び、未来を拓く」を受けて設定した。

吉名町について調べる中で町のよさを見付け、「吉名ミュージアム」創立のために、調べたことを基に掲示物やプレゼンテーション資料の作成に取り組んだり、ミュージアムをよりよくする方法を考えたりすることで、自分が選択した課題に進んで挑戦し、失敗しても改善を図り、最後までやり切る力を養うことができる。

プレゼンテーション資料の作成を通して、Chromebook を用いた文書作成の技能を高める。また、よさを説明する動画撮影を通して、構成を意識した原稿の作成、文章を覚えて伝えたいことを話す力を育成することができる。

単元の系統性

- 第1学年：学校の施設の様子、先生や友達などに関心をもって学校探検をする。
- 第2学年：町の自然、人々、社会、公共物などに関心をもって町探検をする。
- 第4学年：地域の食材を調べたり栽培・収穫したりしてデイキャンプを行う。
- 第5学年：体験したことや身近な話題を取り上げてニュース番組を制作する。

他教科との関連

- 国語科 ・自分の考えを相手に伝える。
- 社会科 ・市の様子やくらしの変化について、今昔を比べてまとめる。
- 道徳科 ・A(5) 粘り強くやり遂げる。

児童生徒の実態

本学級の児童は、これまでに吉名町を歩いて地域の神社やお店、特産物などの様々なものを発見してきた。興味をもったことについて、繰り返し見学をしたり、インタビューをしたり、インターネットを用いたりして情報を集め、解説カードにまとめている。また、プレゼンテーションの際には、しっかりと構成を練って発表原稿を作成させることで、自信をもって発表できるようにした。本単元においても、さらに知りたいことを調べるに当たって聞き取り調査を行うが、必要な情報を聞き出す力が身に付いている児童は少ない。そのため、質問項目の立て方、聞き取りの仕方等を指導する必要がある。どの児童も、これまでの学習に主体的に取り組んできたが、よりよくしようと改善したり粘り強く取り組んだりする力は不十分といえる。見通しをもって課題に取り組ませ、失敗を乗り越える経験をさせることで、その楽しさや充実感を感じさせ、ねらいとする力の育成を図りたい。

2 指導について

(1) プロジェクト型学習

「吉名町のよさを伝えよう」という課題を設定し、自分で調べたいことやまとめたことを選択させ、調べたことを基に「吉名ミュージアム」を創立する活動を仕組む。ミュージアム創立の過程で、「どうすれば吉名のよさがわかるか」「資料を作るにはどのような情報・材料が必要か」「どうすればよりおもしろいミュージアムになるか」等、たくさんの課題が出てくると予想される。その都度、自分達で方法を考えさせ、実行させる。失敗や再挑戦を繰り返すことを通して、活動を計画・推進する力や挑戦する力、やり遂げる力を育成する。

(2) ICT活用

本単元では、課題を共有したり、情報を収集したり、発表資料を作成したりする際に、一斉や個別の場面でICTを活用する。吉名町のよさについて発表する際には、Chromebook で作成したプレゼンテーション資料を見せながら、自分の体験したこと・伝えたいことを自分の言葉で話すことができるようにする。「吉名ミュージアム」を改善していく際には、電子黒板や Chromebook を用いて博物館の写真や映像を映し出し、自分たちの「吉名ミュージアム」との違いに気付かせることで、改善方法を考えられるようにする。

(3) 思考スキル・シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の3つのシンキングツールを活用する。

- ① Xチャート……………町探検で分かったことを整理する際に用いる。
- ② マトリクス(表) ……吉名町のよさを他者に伝える際に、どのような順序で話すかを考える際に用いる。
- ③ PMI……………「吉名ミュージアム」の完成に向けて、改善点を話し合う際に用いる。

(4) SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

吉名町について知り、そのよさを伝える活動は、地域の人々や建造物を大切に思い、今後それらを守ろうとすることにつながる貴重な体験となるはずである。自分たちの住んでいる町のよさやそこに関わる人の思いを探らせることで、町を大切に思う気持ちを高めたい。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域にあるものや人に関する知識を身に付けている。</p> <p>②自分が撮影した写真や図書資料、インターネットで集めた情報を基に、Chromebook を用いて簡単なプレゼンテーション資料を作成している。 (ICT活用力)</p>	<p>①地域のよさついて、自分で調べたいことを選択・決定している。</p> <p>②地域のよさを伝えるための方法を様々な情報を比較して検討し、改善策や今後の活動内容を考えている。</p> <p>③事前に考えた質問項目を基にインタビューを行ったり、図書資料やインターネットを使ったりして、情報を集めている。</p> <p>④教師が示したフォーマットや助言を基に作成した原稿用紙1枚程度のスピーチ原稿(手書き)を覚え、抑揚をつけながら、つまらずに話している。(プレゼンテーション力)</p> <p>⑤他の博物館の取組を参考にしながら、「吉名ミュージアム」を改善する方法についてアイデアを出している。</p>	<p>①地域にあるものや人について進んで調べようとしている。</p> <p>②分かったことや伝えたいことを、相手に分かりやすくまとめようとしている。</p> <p>③自分が選択した課題に進んで取り組み、失敗してもよりよくしようと進んで改善を図り、最後までやり切ろうとしている。</p>

4 学習指導計画と評価計画 (全 60 時間 本時 43/60 時間)

時	学習活動		ICT活用	シンキングツール	評価規準(評価方法)
1 ～ 4	<p>●本単元の課題を知る。</p> <p>・地域の写真を見ながら2年生の時の町探検を振り返り、町にはどんなものがあるか再度調べようという思いをもつ。</p> <p>・探検後に「吉名大マップ」をつくり、学園祭で掲示することを想定して、町探検の計画を立てる。</p>	<p>「吉名ミュージアム」を開いて、 「吉名のよさを伝えよう」!</p>	一斉		ウ① (行動観察, 振り返りシート)
5 ～ 14	<p>●計画に沿って、町探検をする。</p> <p>・社会科の学習と関連させながら町探検を行い、地域にあるものや人を見付ける。 (町探検では、見付けたものや気付いたことをメモしたり、記録に残したいものを写真に撮ったりする。)</p>				ア① イ③ ウ① (行動観察, 振り返りシート)
15 ～ 20	<p>●「吉名大マップ」をつくる。</p> <p>・町探検で分かったことや写真の整理をする。</p> <p>・学園祭で掲示する「吉名大マップ」づくりに向けて、役割分担をする。</p> <p>・社会科の学習と関連させながら、調査したことを「吉名大マップ」に表す。</p> <p>・「吉名大マップ」を掲示する。</p>		一斉	Xチャート	ア① イ①② ウ② (行動観察, 振り返りシート)
21 ～ 30	<p>●興味をもったものについてさらに調べ、解説カードにまとめる。</p> <p>・「吉名ミュージアム」をつくることを想定して、自分たちのつくった「吉名大マップ」と実際の観光マップとを比較し、解説を加えた方がより分かりやすい地図になることに気付く。</p> <p>・解説カードにはどのようなことを書けばよいか話し合う。</p> <p>・一人一つ担当を決め、自分の調べたいものについて、これまでに得ている情報やさらに詳しく知りたいことを整理する。</p> <p>・情報を集める方法を考える。</p> <p>・地域の人にインタビューしたり、再度町探検をしたりして情報を集める。</p> <p>・情報を整理し、解説カードの文章を考える。</p> <p>・Chromebook を使って文章を入力したり写真を挿入したりし、解説カードをつくる。</p>		一斉 個別	マトリクス (表)	ア①② イ①②③ ウ①② (行動観察, 振り返りシート)

31 ～ 40	<ul style="list-style-type: none"> ●調べたことを自分の言葉で説明する動画をつくる。 ・解説カードにまとめたものについて、自分の体験したことや伝えたいことを説明する発表原稿をつくる。 ・発表内容にあったスライドを作成する。 ・原稿を覚え、スライドに合わせて話す練習をする。 ・動画を撮影する。 	「吉名ミュージアム」を開いて、吉名のよさを伝えよう！	一斉 個別	マトリクス (表)	ア①② イ②③④ ウ①②③ (行動観察、振り返りシート)
41 ～ 50 (本時 43時間目)	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名ミュージアム」を改善する。 ・「吉名ミュージアム」に「吉名大マップ」と解説カード、動画コーナーを設置する。 ・先生を招待し、意見をもらう。 ・社会見学で訪れた「筆の里工房」と自分たちの「吉名ミュージアム」を比較し、気付きを交流する。 ・改善方法を考え、役割分担をする。 ・自分が担当するものについて、グループで協力して調査・作成する。 ・「吉名ミュージアム」を完成させる。 		一斉 協働	PMI	ア① イ①②③⑤ ウ①②③ (行動観察、振り返りシート)
51 ～ 55	<ul style="list-style-type: none"> ●「吉名ミュージアム」に地域の人を招待する。 ・地域の人を招待し、ミュージアム内を案内したり、調べたことを地域の人に説明したりする。 		一斉		イ② ウ② (行動観察、振り返りシート)
56 ～ 60	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返りをする。 ・お世話になった方にお礼の手紙を書く。 ・一連の活動を振り返り、新たに見つけた地域のよさや自己の成長などについてまとめる。 		一斉		ア① ウ② (行動観察、振り返りシート)

5 本時について

(1) 本時の目標

「筆の里工房」と「吉名ミュージアム」を比較し、「吉名ミュージアム」を改善する方法について考えることができる。

(2) 本時の評価規準及びブルーブリック

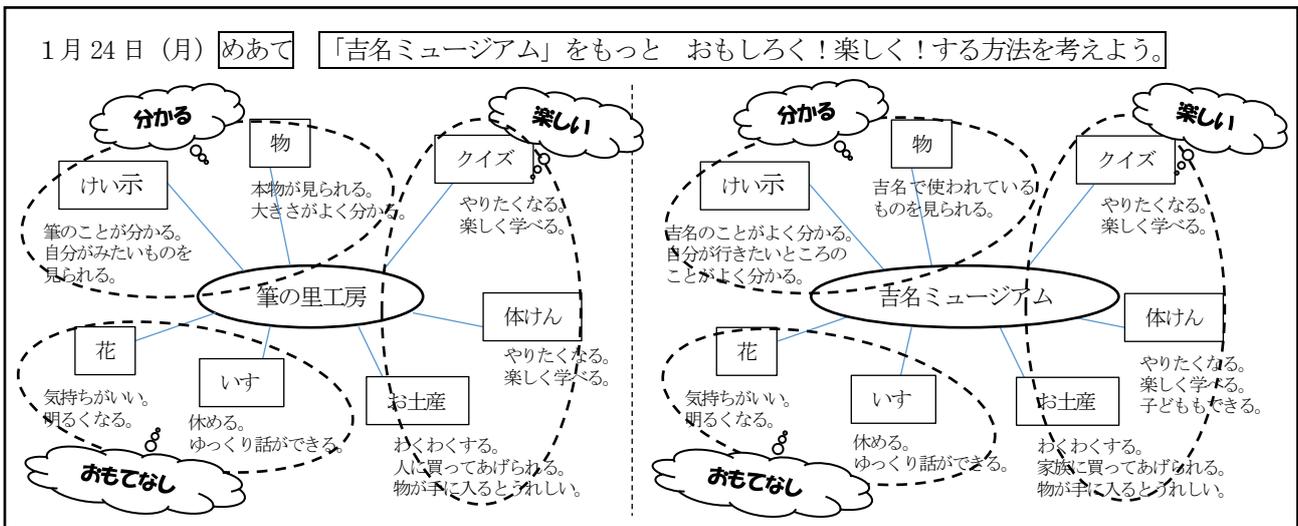
評価規準	S(期待以上)	A(十分満足できる)	B(概ね満足できる)	C(努力を要する)
他の博物館の取組を参考にしながら、「吉名ミュージアム」を改善する方法についてアイデアを出している。	他の博物館の取組を参考にし、 <u>観覧者がより興味をもてるように相手意識を持ち</u> 、「吉名ミュージアム」を改善する方法を考えている。 <u>考える際に、吉名のよさを守り伝えたいという思いを主張しながら、3つ以上アイデアを出している。</u>	他の博物館の取組を参考にし、 <u>観覧者がより興味をもてるように相手意識を持ち</u> 、「吉名ミュージアム」を改善する方法について3つ以上アイデアを出している。	他の博物館の取組を参考にしながら、「吉名ミュージアム」を改善する方法についてアイデアを出している。	他の博物館の取組を知っても <u>改善しようとし</u> ない。「吉名ミュージアム」を改善する方法について <u>アイデアをもてない。</u>

(3) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点(◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
<p>1 これまでの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •Chromebook を使って、解説カードやスライドをつくったね。 •地図と解説カードが掲示できたね。 •動画コーナーもできたね。 •校長先生や教頭先生が見に来てくれたね。 <p>2 先生方の感想を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> •完成かと思っていたけれど…。 •どうしたらいいんだろう…。 <p>3 本時の課題を確認する。</p>	<p>◇電子黒板に前時の活動の様子を映し出し、活動を振り返らせる。</p> <p>◇校長先生や教頭先生の感想を提示し、改善の必要性を感じさせる。</p> <p>◇どんなミュージアムにしたいか問いかけ、課題の設定につなげる。</p>	
<p>「吉名ミュージアム」をもっと おもしろく！楽しく！する方法を考えよう。</p>		
<p>4 「筆の里工房」の動画を見て、気付きを話し合う。</p> <p>【気付き】 (分かる)</p> <ul style="list-style-type: none"> •掲示物(筆の説明・人物の紹介・年表など)がたくさんある。→筆のことが分かる。 •物(筆、道具など)が置かれている。→実物が見られる。 •動画が流れている。→分かりやすい。 •職人さんの筆づくりが見られる。→筆のつくり方がよく分かる。 <p>(楽しい・わくわくする)</p> <ul style="list-style-type: none"> •クイズがある。→やりたくなる。楽しく学べる。 •体験ができる。→やりたくなる。楽しく学べる。 •お土産屋さんがある。→人を買ってあげられる。物が手に入ると嬉しい。 •引き出しの中に展示されている。→開けてみたくなる。見てみたいと思う。 <p>(おもてなし)</p> <ul style="list-style-type: none"> •リーフレットや案内板がある。→観覧しやすい。 •お花がある。→気持ちがよい。明るくなる。 •消毒や「お願い」がある。→安心して見られる。 •椅子がある。→休める。ゆっくり話ができる。 	<p>◇まず思いついた方法を自由に説明させる。</p> <p>◇社会見学で「筆の里工房」を見学したことを思い出させ、これまでに博物館に行った経験があることに気付かせる。</p> <p>◇ペアで「筆の里工房」の動画を見ながら、自分たちがつくっている「吉名ミュージアム」と比較させる。</p> <p>◇「筆の里工房」の見る人を楽しませる工夫について、気付きをノートにメモさせる。動画を見ながら自分たちが実際に行った時のことも思い出させ、「おもしろかった」「楽しかった」工夫に着目できるようにする。</p> <p>◆イメージマップを用いて板書し、ノートに同じように書かせることで、考えを整理しやすくする。また、左右に分割して板書し、「筆の里工房」と「吉名ミュージアム」を比較しやすくする。</p> <p>◇気付いたことを全体で交流させる。一通り気付きを出させた後に、「なぜそのような工夫をしているのか」と問いかけ、似ているものを結び付けることで、観覧者の視点に立てるようにする。</p>	

<p>5 自分たちにできそうな工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲示を増やす。 ・物を置く。 ・クイズコーナーをつくる。 ・体験コーナーをつくる。 ・お土産を用意する。 ・リーフレットをつくる。 ・お花を置く。 ・椅子を置く。 	<p>◇板書された気付きの中から、自分たちにできそうな、取り組みたい工夫を取り上げさせる。</p> <p>◇それぞれの工夫を取り上げた理由を説明させることで、自分たちの「吉名ミュージアム」に取り入れるとどんなよいことがあるかを考えさせる。</p> <p>◆2人以上のグループで次回から準備をしていくことを知らせ、見通しをもたせる。</p>	<p>他の博物館の取組を参考にしながら、「吉名ミュージアム」を改善する方法についてアイデアを出している。(行動観察・振り返りシート)</p>
<p>6 考えた方法を実行するためにどんな準備が必要か考える。</p>	<p>◇児童が取り組みたいと挙げた工夫のいくつかに着目させ、実行するにはどのような準備が必要か全体で考えさせる。</p> <p>◇材料や用具など必要なものがたくさんあることに気付かせ、どうすればよいか、誰にお願いすればそれらの材料や用具を確保できるかを考えさせる。</p>	
<p>7 本時の学習の振り返りをする。</p>	<p>◇振り返りシートに振り返りを書かせる。</p>	

(4) 板書計画



(5) 準備物

- 写真教材（「吉名ミュージアム」の写真）
- 映像教材（「筆の里工房」の資料を撮影した動画）
- リーフレット